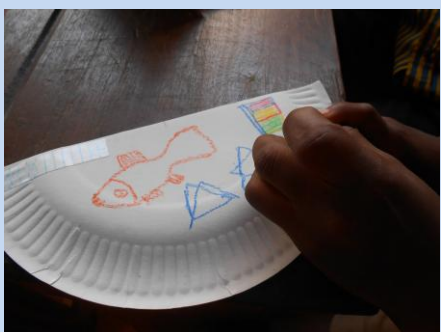


ガーナでお絵描き
くれよん プロジェクト 39号

十二月に入ると、日本ではあちこちでクリスマスイルミネーションが話題になるのでしょうか？ガーナでも、もちろんクリスマスで盛り上がります。首都のショッピングセンターやアーケードには、クリスマスツリーが飾られたり、サンタクロースも飾られたりします。また会社では、日本というならお歳暮のような贈り物がクリスマスプレゼントとしてされます。その中身は、ワインやお米、クッキーなど大きなバスケットに入られきれいなラッピングがされ会社に届けられるのです。またクリスマスプレゼントに関していえば、日本では、おもちや屋さんがクリスマス商戦に合わせて広告を出し、子ども心をつかむのと同じように、ガーナでも多少ではありますがおもちや商戦があります。これは、首都で見られる光景であって、村に行けばいくほど、クリスマスにデコレーションされた店舗やクリスマス商戦は感じられなくなってきました。アフィフェ村の子どもに関していえば、情報量が少ないせいか、サンタクロースは知っているけれど、クリスマスツリーは知らない。サンタクロースのそりを引いているトナカイを知らないという子どももいます。このようなことを考えると、自分がいかに情報量の多いところで今まで生活していたのだろうと考えさせられることが多くあります。知らなくても当たり前なのかもしれませぬ。ガーナで活動しているとこうした事を感じるたびに、もっ

ともつとたくさんを知って、体験して欲しいなあと強く感じるのです。そうした思いから、毎年行っているクリスマス制作は、くれよんを使ったものでは紙皿で作るクリスマス帽子を制作しました。このクリスマス帽子の制作は、クラス4の生徒たちで、上の学年では、紙コップでつくるサンタクロースや、折り紙のように束ねた紙を折っていくマガジンツリーを作りました。紙皿で作る帽子は、半円を丸めるとどうなるのか？あつと驚く仕組みも覚えておいて欲しいなという思いもありました。 工作日 十一月二十七日



協賛 ペンてる株式会社様 “ペンてるくれよん”

報告 2014年12月20日 TOSHIKO